

## 製品名: IL-33 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86838

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:30 kDa; Observed MW:30 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	IL-33
別名	Il-33; Il1f11; NF-HEV; 9230117N10Rik
遺伝子 ID	77125
SwissProt ID	Q8BVZ5
免疫原	マウス IL33 の組み換えタンパク質

### 背景

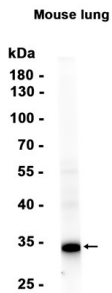
IL1RL1/ST2 受容体に結合し、シグナル伝達を行うサイトカイン。標的細胞において NF- $\kappa$ B および MAPK シグナル伝達経路を活性化

します。Th2 細胞の成熟に関与し、Tヘルパー 2 型関連サイトカインの分泌を誘導します。また、肥満細胞、好塩基球、好酸球、ナチュラルキラー細胞の活性化にも関与します。Th2 細胞の走化性因子として作用し、組織損傷時の免疫応答を増幅させる「アラミン」として機能する可能性があります。

## 研究分野

-

## 画像データ



IL-33 ウサギモノクローナル抗体を 1:100 で使用してマウス肺組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。